



## ● 更なる専門性を求めて

特別養護老人ホームサンアップルホームでは、併設されたサンアップルホームデイサービスセンターがあります。平成18年2月10日に、更なる専門性を求めた『デイサービスセンター じょい』が新たに開設の運びとなりました。津軽弁でいう、じょい（常居）とは、居場所であり、英語でのjoy（よろこび・楽しい）の意味も込めています。定員数は10名であり小規模となりますが、それだけ充実した個別サービスが可能になり、より質の高いサービスが提供できます。

## ● このような認知症の症状はありますか？

- ・ 明るさや親しみがなくなる
- ・ 身体的不調を訴え気持ちが沈みがち
- ・ 怒りっぽく頑固になる
- ・ 趣味や興味が失い会話が減り外出しなくなる
- ・ 身だしなみにかまわなくなり、だらしなくなる

このような症状がみられた場合、一人で悩まず、主治医やケアマネージャーへ相談してみましよう。身体機能上や家族の都合等、色々な事情により、やむを得ず入所しなければならぬ方もいますが、上手に在宅サービスを利用する事によって、長く自宅で生活する事が可能になります。介護を長続きさせるコ

ツは早くからの積極的な福祉サービスの利用ともいえます。

## ● その人らしい生き方

高齢者の方は、私たちの人生の先輩です。その人らしい生き方をしていくために、家族の理解やかかわり方が重要となります。馴染みの場所、馴染みの人、安心できる環境、安心して頼れる人がいること。『デイサービスセンター じょい』は、特に認知症の分野の専門性を追求し、利用者の方には**あずまい居場所**としてご利用していただけるように、そして、支える家族をバックアップするために、必要なお手伝いをさせていただきます。

ご相談や利用料等については、お気軽にお問い合わせください。

デイサービスセンター じょい

☎ 97-2013

特別養護老人ホームサンアップルホーム

☎ 97-2111



発行人  
社会福祉法人七峰会  
理事長 奥田 稔  
〒036-8356  
青森県弘前市大字下白銀町21-8  
電話(0172)33-8861・FAX(0172)33-8862

# 親睦を図る25年

—自治会活動

身体障害者  
授産施設

旭光園

旭光園には、利用されている方59名で結成されている自治会があります。品川会長はじめ役員6名が中心となり活動しています。毎月会費を集め、ゲーム大会やクリスマス会といった行事の企画から会員相互のお祝い事・ご不幸に対してのお祝金やお見舞金、共同使用の日用品の購入、また施設に対する要望の取りまとめなども行ってきました。

\* \* \* \* \*

先日ゲーム大会が開催されました。自治会で用意した豪華賞品を目指し、麻雀・トランプ・将棋・花札・オセロなどに熱戦を繰り広げました。若いころ腕を鳴らした



達人から全くの初心者まで色々ですが、そのレベルごとに読みと駆け引きを駆使した真剣勝負が見られました。若い人の中には「テレビゲームがあれば勝てるのに」といった声も聞かれましたが、毎年恒例の大会を楽しみにしている方も多いようです。

\* \* \* \* \*

会費のみで運営しているため、国家財政と同様自治会の台所も火の車とのこと。しかし、品川会長は「皆さんの懐具合を考えると会費を簡単に値上げすることはできません。これからもやり繰りを工夫して楽しく活動していきますよ。」と話してくれました。

開設当初、新しい環境での生活の不安を解消し、親睦を図ることが目的で結成された自治会ですが、その思いは今でも引継がれています。

津軽障害者就業・生活支援センターの活動について

知的障害者  
通勤  
拓心館

障害者自立支援法が平成18年4月から施行されます。利用者の負担増で評判のよくない法律ですが、障害者が経済活動へ参加するため、の就労支援が柱の一つになってい

ます。

拓心館は昭和53年の開設以来知的障害者の就労支援を行ってきました。その実績を基に知的障害者だけでなく身体障害者、精神障害者、自閉症に代表される発達障害の方々の就労支援を行うために青森県の指定を受けて、平成13年度から就労支援のためのセンターを運営しています。

それが津軽障害者就業・生活支援センターですが、障害者自立支援法施行を前に、今一度活動内容を紹介したいと思います。

## ●どんな人が利用できるのですか？

障害種別に関わりなく障害者手帳のない方でも、「仕事がしたい」「今の仕事があまくいかない」「仕事を辞めてしまったが再就職したい」など地域で働きたいと願っている人たちが利用できます。養護学校の生徒さん、施設利用している人も登録が可能です。支援は卒業後。

## ●利用できる地域は？

活動エリアは中弘南黒地区ですが、五所川原市、つがる市、中泊町からの相談にも対応した実績があります。

## ●料金は？相談方法は？

相談は無料です。電話、ファック

スでの相談、(メールはありません)相談者がセンターに来られる場合、ワーカーがお宅を訪ねる場合、場所を指定して待ち合わせて相談する場合と利用者の都合に合わせて相談を受けようとしています。

## ●支援の内容を教えてください！

- ①どのような仕事をしたいか、ご本人の希望を聞く。
- ②働くための力を判定する。  
(青森障害者職業センターが行います。)
- ③基礎訓練を行う。
- ④職場実習を行う。
- ⑤就職先を探す。
- ⑥就職の手続きや面接の支援。
- ⑦各種障害者雇用制度の紹介。
- ⑧職場に定着できるようにジョブコーチが支援する。
- ⑨定期的にジョブコーチがフォローアップする。

私達の目標は、障がいがある人もない人も共に働く地域づくりです。拓心館グループは津軽障害者就業・生活支援センターを核に、障がいのある人一人ひとりの働く力に合った支援が可能になるよう、総合的な就労支援の拠点を目指したいと思っています。

☎ 0172-82-4524

**くれよん**  
**『創作活動』大盛況**

身体障害者  
療護施設

**山郷館**

山郷館デイサービスセンター  
『くれよん』は昨年一月にオープンしてから一年が経ちました。今回は、利用者に人気の創作活動を紹介したいと思います。

その一つは「料理教室」です。中澤料理教室の中澤美和子先生が利用者の希望を聞きながら季節に合った献立を準備してくれまます。例えば、「お菓子を作ってみよう。」の声には「クリスマスが近いのでケーキを作りましょう。」と「ザッハトルテケーキ」を作りました。和食の希望には、正月の「おせち料理」、バレンタインには、チョコプレートを作りました。一人ひとりに合った包丁やまな板、電磁調理器など使いやすいように工夫した道具を使って真剣に、そして協力し合い和気あいあいと取り組んでいます。毎回参加して下さっている方が「最初は今度一回休もうかなと思うことがあったけど、今は作ってみたい献立が楽しみで休んでいられない」とおっしゃっていました。

もうひとつは「書道教室」です。大西右峰先生を講師に迎えてスタ

ートしたばかりの新しい活動です。先生の「自由にのびのび表現して下さいね」との言葉に思い思いに筆を持って楽しんでいきます。

料理教室も書道教室もとても人気がある活動です。ある利用者は「私たちが活動に参加できる場所が本当に少なかつたので、こうやって気軽に参加することができてとてもうれしんです。もつと（活動を）増やして下さいね」と話しています。これからも気軽に喜んで参加していただける活動を取り入れていきたいと思っています。

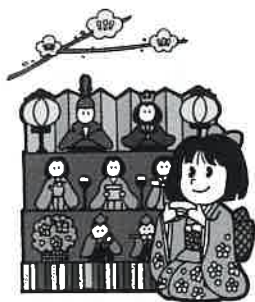
★おしらせ★

○料理教室(第1・2・4木曜日)  
午前10時～12時

○書道教室(第1・3火曜日)  
午後1時～2時

参加を希望される方はお気軽にお電話下さい。

☎0172-3719040



**沢田さんを  
紹介します。**

知的障害者  
更生施設

**拓光園**

相馬村湯口の沢田健雄さんは小ネギの養液栽培を行っています。拓光園の利用者の職場実習を受け入れてくださって既に8年になります。

沢田さんは以前はリング農家でしたが、台風19号で大きな被害を受け、それを機会にハウスでの小ネギの周年栽培に経営を切り替えました。

拓光園の利用者との出会いは、今から8年前になります。小ネギの無駄な葉を取ったり袋詰めする人手を探していた折、当園の利用者の話を聞き、受け入れて下さいました。今では拓光園から男性1名女性1名、拓光園を巣立ちグループホームで生活している女性3名、更に拓心館からも男性2名の計7名が沢田農園で活躍中です。

園からは送迎の車輛が7時に出発し、途中拓心館の利用者を乗せ8時前にはハウスに到着します。利用者の方々はそれぞれ、定植用のパネル洗い、ネギの計量と袋詰め、枯葉の除去作業、と自分にあつた作業を特に指示されなくても積極的に行うことができますように

なりました。

沢田さんは、仕事の合間には、園で起こった出来事やトラブルの話などにも真剣に耳を傾けてくださったり、また励ましてくれたり、その温厚な人柄からお父さんと慕われていきます。

「園で送迎してくれるおかげで作業が継続できています。一人ひとり個性的で本当に楽しく作業することが出来ます。」と話す沢田さん。スーパーなどでブランド名「じよんから」の小ネギを見かけましたらそれは利用者の方々と沢田さんとの合作の農産物なのです。



# いわせてネット

## 短期訓練を 通して



知的障害者  
更生施設  
**拓光園**

弘前学院大学3年 吉田 芳奈  
 昨年12月27日、29日の三日間  
 拓光園にて養護学校中等部から  
 高等部の自閉症児の短期訓練が  
 行われボランティアとして参加  
 させていただきました。

短期訓練は夏期、冬期の年2  
 回実施されていて、プログラム  
 内容は作業、レクリエーション、  
 社会生活適応訓練などで今回は  
 参加者10名、学生ボランティア  
 14名で実施されました。

一日目は、ボランティアと参  
 加者が信頼関係を築く事が出来  
 るように、借り物競走、ビンゴ  
 ゲーム、雪遊びなどのレクリエ  
 ーションから始まりました。室  
 内でのゲームも楽しそうでした  
 が、グラウンドで行った雪遊び  
 は、寒い中全員大はしゃぎでし  
 た。午後は、体育館でダンスの  
 衣装作りをしました。帽子、マ  
 ント、ハンドベルを作成しまし  
 た。針などを使う作業も含まれ  
 ていましたが、皆集中して取り  
 組みました。

二日目はお正月にちなみビツ  
 クカルタのレクリエーション、  
 工作はカレンダー作りを行いま  
 した。細かい作業は、集中して  
 丁寧に行いました。

最終日の三日目にはごみの分  
 別について学び、工作では牛乳  
 パックを使った万華鏡を作り、  
 反省会では毎日帰りの会で練習  
 していたダンスを発表しました。  
 今回の短期訓練では、一日の日  
 程に参加者に把握してもらった  
 め絵カードを用いたり、視覚に  
 訴える方法を色々工夫したりし  
 ました。



短期訓練の参加者や保護者の  
 方はさまざまなお思いや願いを持  
 って臨んでいます。そのような  
 声を参考にしたいばかりで  
 なく充実したものになるように  
 これからも取り組んでいきたく  
 と思います。

# 後援会コーナー

## 七峰会后援会 総会報告

七峰会后援会平成18年度定時  
 総会は2月8日18時から会員  
 54名の参加により「要」にて  
 開催されました。

議案審議については、石崎  
 宜雄会長による議事進行のも  
 と  
 一、平成17年度事業報告並び  
 に収支決算の承認を求め  
 る件

二、平成18年度事業計画(案)  
 並びに収支予算(案)の審  
 議決定を求める件

は満場一致で可決されました。  
 又、平成18年度事業につい  
 ては、平成17年度の施設見学  
 と勉強会が好評だった事から  
 秋(10月以降)に黒石市に開  
 設予定の施設見学と、こけし  
 館での交流勉強会に決まりま  
 した。

続いて懇親会では竹内誠三  
 副会長の乾杯のもと会員相互  
 の親交を深め合い、時間の経  
 つのも忘れるほどの盛会とな  
 りました事をご報告致します。

総合支援	知的障害者援護	身体障害者援護	特別養護老人ホーム	居宅介護事業
弘前市委託事業 身体障害者相談支援事業 弘前市障害者生活支援センター TEL 31-2400 青森県指定 津軽障害者就業・生活支援センター TEL 82-4524	拓 心館 TEL 82-4520 知的障害者グループホーム(9か所) 生活自立訓練事業 地域生活支援センター 勇心学園 デイサービスセンターエイブル 光園 TEL 96-2331 通所利用事業 拓光園デイサービスセンター 拓光園短期入所支援センター 拓光園障害児短期入所支援センター 知的障害者グループホーム(2ヶ所)	山 郷館 TEL 97-2211 身体障害者(盲)短期入所事業 山郷館デイサービスセンター 山郷館デイサービスセンター 山郷館デイサービスセンター 山郷館訪問介護センター 山郷館訪問介護センター 山郷館訪問介護センター 山郷館訪問介護センター 光園 TEL 57-5155 通所相互利用事業 旭光園身体障害者短期入所事業 身体障害者福祉ホーム さわら	サンプルホーム TEL 97-2111 サンプルホーム短期入所生活介護センター サンプルホームデイサービスセンター サンプルホームヘルパーセンター グループホームアップル TEL 97-2778 デイサービスセンターじよい TEL 97-2013 サポートセンターわかば 弘前市大字若葉2丁目15 グループホームわかば TEL 37-1165 デイサービスセンターわかば 弘前市委託事業 サンプル在宅介護支援センター TEL 97-2131	山郷館居宅介護支援センター TEL 97-2941 サンプル居宅介護支援センター TEL 97-2131